

2021年（令和3年）度事業報告書

I 2021年（令和3年）度事業の総括

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症は国内外に大きな影響を与えた。2回のワクチン接種をすすめ、延期となっていた東京五輪2020も実施し、一時期は沈静化したものの、変異株に対して、まん延防止、緊急事態宣言等を繰り返し、様々な活動の大きな制約となった。3回目のワクチン接種の進展等もあるが、終息する目途はたらず、コロナ禍での日常が続いている。

財団事業においても、前年に引き続き、助成活動に影響が出た団体・個人には、「年度内活動を翌年度に延長可」とした。その結果、翌年への延期が42件、中止が9件となっている。

活動が延期されたこともあったのか、公募助成への申請数は177件で、例年より30%減という低調な結果となったが、最終的には118件、採択率67%、平均助成金額23.7万円とし、コロナ禍でも積極的な活動を行う団体・個人を助成した。

助成の成果報告会は、昨年に引き続き Zoom ミーティングによるオンライン形式での実施となったが、昨年比4倍の32団体が延べ4日間で発表した。各発表内容は全て動画配信し、多くの方がいつでも視聴できるようにした。

また、財団設立35周年の記念事業としていくつかの事業を実施したが、特徴的なものとしては、「助成事業の電子申請等を運用する助成業務支援システムの導入」があげられる。

2022年度の教育文化活動助成では、本格的なオンラインによる電子申請を行い、このシステムにより、審査委員会から成果報告等の一連の業務の効率化を図る。初めての運用だが、申請数は235件と昨年比33%増となった。

調査研究事業としては、2008年度～2020年度までの13年間に助成を受けた1327団体・個人に対して、「教育文化活動助成に関するアンケート調査」を実施し、結果を踏まえて、より効果的な助成事業の運用を検討していく。なお、コロナ禍のため、第10回記念フォーラム及び小学生の美術館体験事業は次年度に延期した。

2021年(令和3年)度の主な事業実績

公益目的事業 I 教育文化活動支援事業

1 表彰事業

- ・ 2019年度より一本化した「福武教育文化賞」の第3回目として実施し、5件（3個人、2団体）への贈賞を行い、受賞者からこれまでの活動と今後について発表いただいた。
- ・ 昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染懸念により、通常の大規模な開催を改め、必要最低限の受賞者家族、推薦者等関係者のみに参加人数を絞り短時間での開催とした。（参加40名）
- ・ 選考委員会の開催前に、各選考委員には事前に候補者を提示いただき、選考委員会は、対面とオンラインを併用し、1時間に短縮した。
- ・ 贈賞式は、コロナ禍対応した前年同様に単独開催で対面のみ実施した。
- ・ 今年度の概要は以下のとおり（当初3件の予算枠で5件執行）

福武教育文化賞

① 5月～6月推薦受付（市町村及び各教育委員会、報道機関、大学等179の宛先に依頼）

② 推薦状況：13件（個人6件、団体7件）※個人…重複1件含む

8月24日選考委員会を開催し、3個人、2団体に決定（会場：岡山プラザホテル）

軸原 ヨウスケ（グラフィックデザイナー、COCHAE代表・アートディレクター）、竹内 佑宜（郷土史家、公益社団法人津山市観光協会顧問）、福田 廉之介（ヴァイオリニスト、一般社団法人 The Most 理事長）、NPO 法人灯心会スカイハート灯（理事長 藤原 恒夫／津山市）、たまのスケッチ

ントガイドプログラムチーム（代表 妹尾 均）

10月30日 贈賞式を開催。受賞者各10分の発表、式典のみで交流会は実施しなかった。（会場：岡山プラザホテル）

2 助成事業

(1) 教育文化活動助成(公募)

2019年度から「教育文化活動助成」として一本化し、教育的・文化的な視点から、岡山県内地域の発展・向上を目指した活動が対象で、申請区分は以下のとおりとしている。

1. 教育及び文化芸術による地域社会の課題解決や社会的価値の創造に取り組む活動
2. 教育及び文化芸術による次世代育成に取り組む活動
3. 教育の質の向上や普及に取り組む活動
4. 文化芸術の質の向上や普及に取り組む活動

① 2020年11月15日～2021年1月15日 受付

期間中の応募総数は、177件（20年214件、19年284件、18年254件、17年235件）

② 審査委員に事前審査を依頼（各担当部会の申請書を審査し、評価点を記載）

③ 3月10日にオンラインで審査委員会を開催

事前に各委員は、事前評価票を提出し、事務局集計後に各部会を開催した。

118件を採択（採択率67%、1件当たり平均助成金額23.7万円）、総額2,800万円

〔 20年144件・3,000万円、19年134件・2,770万円、18年126件・2,810万円、
17年135件・2,835万円 〕

④ 3月19日、理事の過半数以上の同意を得て決定し、採否を応募者全員へ連絡した。

⑤ 2021年4月中旬に助成金を各団体個人に支払った。

⑥ 緊急事態宣言等コロナ禍での順延等の対応について相談連絡があったものに対応した。

⑦ 活動に関するヒアリング、地域交流を図るためandF情報交換会をエリア別に実施した。

⑧ 電子申請システムの本格的導入準備を進める。

⑨ オンライン成果報告会を11月12日、13日、26日、27日の4日間にわたり実施。毎回8件、計32団体・個人が成果報告し、オンライン上で審査委員がコメントをした。延べ参加者数は約240名各発表の様子は動画配信した。

(2) 福武教育文化賞受賞者フォロー助成

受賞後3ヵ年各30万円を限度として申請に基づき助成することとし、今年度は、以下の4件について助成した。

560の夢プロジェクト実行委員会、「老いと演劇」OiBokkeShi、柴田れいこ、備中志事人

(3) 特定の特色ある活動に対する助成

昨年度に引き続き、以下の3分類として助成した。

① 先進的事業助成

- ・ 国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座の教育研究
- ・ 高校と地域の連携・協働（井原市ひとつづくり実行委員会、MY OKU HANK、「無色」だった中庭に「色彩」を！チーム、Wakesizu 医療福祉のための未来のために☆プロジェクト、うおうお班、岡山高等学校探求クラス（コメ作り×エシカル消費プロジェクト）、地域の魅力発掘委員会）
- ・ 学校出前講座事業（公益社団法人岡山県文化連盟）
- ・ 多様な芸術文化鑑賞支援（「岡山の美術」活性化事業実行委員会、一般社団法人みるを楽しむアートナビ、一般社団法人クニヨシパートナーズ）

② グローバル化事業助成

国際的人材育成につながる活動を行う団体等に対して助成した。

- ・ 英語力向上につながる研修事業（備前まなび塾+英語体験教室実施運営委員会、矢掛町外国語教育推進研究会、和気町グローバル人材育成プロジェクト、たまの☆おもてなし推進委員会）
- ・ 日中青年交流（岡山県日中教育交流協議会）

③ 瀬戸内文化育成助成

瀬戸内文化の育成、創出のために必要なプロジェクトに対して助成した。

（たまの☆おもてなし推進委員会、こども芸術アプローチ実行委員会）

(4) 公募助成に準じる緊急を要する等の助成

年度途中で申し出のあった緊急を要する教育文化活動に助成した。（瀬戸内サニー株式会社）

【助成事業一覧】

事業内容	助成件数	助成金額（万円）
教育文化活動助成（応募 177 件）	117	2,800
福武教育文化賞受賞者フォロー助成	4	120
特定助成	19	1,823
公募助成に準じる緊急を要する等の助成	1	30
合計	141 件	4,773 万円

3 研修会等開催事業

研修会・講演会開催

① フォーラム

当初、周年記念フォーラムを予定していたが、コロナ禍により翌年に延期した。

② andF 教室

第 12 回からは、新型コロナウイルス感染予防のため、集合せずオンラインで実施。助成先団体や地域で活動する個人・団体を対象に、共通する課題（運営、基盤等）の解決につながる研修とした。助成対象者等を講師に迎え、これまでの活動経験を基に知見や知識を共有してもらい、参加者にとっても深い学びとなった。計 4 回実施、参加者計 54 名

- ・ 第 11 回 動画づくりの基本の「き」を学ぶ—知的財産って知っていますか？

講師：源文彰(岡山科学技術専門学校 学生課長兼映像音響学科長)

- ・ 第 12 回 活動資金の基本の「き」を学ぶ—活動を継続させるためには？

講師：高田佳奈(公益社団法人岡山県文化連盟 主任)

- ・ 第 13 回 RESAS の基本の「き」を学ぶ—ビックデータを活用してみませんか？

講師：川崎好美(岡山県立倉敷商業高等学校教諭)

- ・ 第 14 回 マインドマップの基本の「き」を学ぶ—「考える」ツールを手に入れませんか？

講師：坂ノ上博史(一般社団法人 高梁川流域学校 代表理事)

4 調査研究事業

岡山県の子どもたちの教育文化課題の解決や人間力向上のために必要な調査研究等を中長期の視点で以下のような活動を行った。

(1) 教育文化活動助成に関するアンケート調査の実施（昨年度から順延）

- ・ 設立 35 周年として、2008 年度から 2020 年度に助成を受けられた団体・個人（1327 件）に、アンケートを実施し、38.3%の回答を得た。

- ・ 主な調査項目は、助成後の成果や効果、財団の実施するフォローアップ等について。
- ・ 調査委託先は、特定非営利活動法人岡山 NPO センター、全体の監修等は、青尾謙氏（岡山大学 学術研究院社会文化科学学域 准教授/公益財団法人 助成財団センター 特別参与）の協力を得た。
- ・ 回答の半数以上が、活動を発展、維持継続しており、助成により活動の規模が拡大し、信頼度、知名度の向上につながったとあった。また、成果報告会、交流会等のフォローアップについても高い評価を受けることが出来た。

(2) 資金調達説明会等への参加

活動内容紹介を通じ、助成先候補団体・個人との相談機会を持ち、現場情報の収集に努めた。

- ・ みんなでつくる財団おかやま主催「備中(総社)子ども円卓会議」に参加（12月12日）
- ・ 岡山県内の文化芸術関係財団・社団法人の情報交換会を開催（10月12日、3月9日）

公募助成制度等を説明し、受講生からの申請を促進した。

- ・ 岡山県・アートで地域づくり実践講座実行委員会主催「ART で地域づくり実践講座 in 早島町」に参加（1月8日）

(3) 小学生の美術館体験事業延期

実験的な取り組みとして、美術館や小学校、文化団体等と連携し、小学生の美術館体験が持続可能となる仕組み作りに取り組む予定をしていたが、コロナ禍により延期した。

5 主催公演事業

昨年度に引き続き、今年度は休止中

6 広報事業

コロナ禍による市民活動の減少を懸念し、財団の活動に対する認知や公募助成の周知をより高めるべく様々な施策を行った。広報機会を増やし、丁寧な対応に努めた。

- ・ 県内市町村教育委員会の文化教育担当課に加え、地域づくり推進課等への巡回訪問を行った。
- ・ 財団公式 Web サイトは、予定通り年 6 回の更新を行い、2022 年度に行うリニューアルに向けて、現行サイトの整理・再構築などの準備を行った。
- ・ 財団機関誌「FUEKI」は、年 3 回発刊（75～77 号）した。
- ・ 財団公式 Facebook は、財団活動を広く理解いただくため、ほぼ毎日更新を実施し、財団公式 Web サイトや財団 YouTube チャンネルへの案内も行った。
- ・ 公募助成申請希望者を対象に andF 相談会（個別相談会）を合計 23 件の団体・個人に対応した。

助成団体の活動状況等を把握し、助成対象者同士の交流を促すため、エリア別情報交換会をオンラインで実施、審査委員他関係者も参加し相互啓発の機会となった。また、テーマ別情報交換会を新設し、3 回実施。魅力的な活動を続ける団体の事例共有を通じて、オンラインの活用の可能性も感じる事が出来た。

【エリア別オンライン情報交換会】 実績 5 回、48 団体 55 名、審査委員他 32 名参加

- ・ 津山市・真庭市・美作市・鏡野町・勝央町・奈義町・久米南町(7 団体) (7 月 3 日)
- ・ 笠岡市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・矢掛町(10 団体) (7 月 17 日)
- ・ 玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・吉備中央町(6 団体) (8 月 21 日)
- ・ 倉敷市(10 団体) (8 月 21 日)
- ・ 岡山市(15 団体) (9 月 18 日)

【テーマ別オンライン情報交換会実績】：3 回、30 名、審査委員 4 名参加

- ・ 活動資金について(うのづくり実行委員会代表 森美樹) (9 名) (11 月 20 日)
- ・ 学校、地域、行政との連携について (NPO 法人だっぴ 代表 森分志学) (14 名) (12 月 1 日)

- ・コロナ禍におけるオンラインの活用について（一般社団法人 高梁川流域学校代表理事 坂ノ上博史）(7名)(12月4日)

7 周年記念事業

次の3つの事業を実施した。

(1) 記念広報

10月30日付 山陽新聞全県版に全5段広告。受賞者紹介と公募助成案内を掲載した。

財団設立35周年記念誌の発刊（2022年発刊予定）準備を行った。

(2) 記念公演

財団主催35周年記念事業として、「国吉康雄記念研究寄付講座2015－2021 活動報告と映像・音声作品発表会」を実施。（12月5日、11日、12日と3日間、延べ19時間）事業委託先は、一般社団法人クニヨシパートナーズで、岡山大学創立五十周年記念館（金光ホール）でのART展とあわせて実施された。

(3) 基盤整備

助成業務支援システム（電子申請等）を導入した。

財団運営

1 理事会・評議員会

○ 2021年(令和3年)5月21日

第1回理事会（書面）

提案① 2020年(令和2年)度事業報告及び決算の承認の件

提案② 書面決議による2021年(令和3年)度定時評議員会開催の件

提案③ 補欠評議員候補者の提案の件

提案④ 2021年(令和3年)度選考委員会委員の選任の件

報告① 資金運用状況報告

報告② 2020年(令和2年)度助成事業報告

○ 2021年(令和3年)6月1日

定時評議員会（書面）

提案① 2020年(令和2年)度事業報告及び決算の承認の件

提案② 補欠評議員の選任の件

報告① 2020年(令和2年)度助成事業報告

○ 2021年(令和3年)6月12日

第2回理事会（書面）

議案① 株主としての権利行使承認の件

報告① 代表理事等職務執行状況報告

○ 2022年(令和4年)1月14日

第3回理事会（書面）

提案① 2022年(令和4年)度助成事業審査委員会委員の選任の件

提案② 2021年(令和3年)第2回評議員会開催の件

○ 2022年(令和4年)3月12日

第4回理事会

議案① 特定費用準備資金の保有について「瀬戸内文化振興事業引当預金」の件

議案② 特定費用準備資金の保有について「公募助成資金引当預金」の件

議案③ 2021年(令和3年)度収支予算書の補正の件

議案④ 2022年(令和4年)度事業計画書・収支予算書の件

報告① 代表理事等職務執行状況報告

第2回評議員会

議案① 2021年(令和3年)度収支予算書の補正の件

議案② 2022年(令和4年)度事業計画書・収支予算書の件

2 事務局

新型コロナウイルス感染症への対応し、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の期間に伴い、月毎に出勤率を定め、昨年に引き続き通常勤務と在宅勤務の併用を行った。

期 間：令和3年4月20日から令和4年3月31日現在

平均出勤率：約67%

Ⅱ 事業報告の附属明細書

1 役員等に関する事項

令和4年3月31日現在

役職名	氏名	就任年月日	常勤・非常勤 (報酬)	現職	備考
名誉顧問	福武總一郎	平成27年6月13日	(無)	株式会社ベネッセホールディングス 名誉顧問	
代表理事 理事長	松浦俊明	重任 令和2年6月12日	非常勤(有)	株式会社南方ホールディングス 取締役	
代表理事 副理事長	片山浩子	重任 令和2年6月12日		学校法人アジアの風 岡山外語学院 理事長	
常任理事	中野行雄	重任 令和2年6月12日	週2日勤務 (有)	元岡山県備前県民局 局長	
理事	谷一尚	重任 令和2年6月12日	非常勤(有)	一般財団法人林原美術館 館長	
	福武美津子	重任 令和2年6月12日		株式会社イルグラノー 代表取締役	
	森田 潔	重任 令和2年6月12日		川崎医科大学 特任教授 前 岡山大学 学長	
監事	佐藤由美子	重任 令和2年6月12日	非常勤(有)	奥田法律事務所 弁護士	
	沼澄夫	重任 令和2年6月12日		沼澄夫税理士事務所 税理士	
評議員	足羽憲治	重任 令和2年6月12日	非常勤(有)	岡山県土地開発公社 理事長 元 岡山県 副知事	
	大原あかね	新任 令和3年6月12日		公益財団法人大原美術館 代表理事理事長	
	越宗孝昌	重任 令和2年6月12日		株式会社山陽新聞社 相談役	
	下妻道郎	重任 令和2年6月12日		株式会社南方ホールディングス 取締役	

評議員	竹井千庫	重任 令和2年6月12日	非常勤(有)	公益財団法人 日本教育公務員弘済会 岡山県支部 支部長 前 岡山県教育委員会 教育長	
	中島義雄	重任 令和2年6月12日		ナカシマホールディングス株式会社 常務取締役	
	原 憲一	重任 令和2年6月12日		RSK 山陽放送株式会社 取締役会長	
	松本芳範	重任 令和2年6月12日		株式会社ベネッセホールディングス 常勤監査役	
	守安 收	重任 令和2年6月12日		岡山県立美術館 館長	

2 職員に関する事項

令和4年3月31日現在

職名	氏名	採用年月日	担当事務	常勤・非常勤	給与月額	備考
事務局長	小川隆正	平成26年4月1日	総括 教育文化事業総括	常勤	有	
職員	三宅千代子	平成13年5月1日	経理・庶務 表彰事業	常勤	有	
職員	植月公子	平成19年4月1日	助成事業	常勤	有	
職員	和田広子	平成20年4月1日	研修会等開催、 調査研究、広報事業	常勤	有	

3 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催又は提案年月日	議事事項	会議の結果
令和3年5月21日 (第1回) 書面決議	第1号提案 2020年(令和2年)度事業報告及び決算の承認の件 第2号提案 書面決議による2021年(令和3年)度定時評議員会開催の件 第3号提案 補欠評議員候補者の提案の件 第4号提案 2021年(令和3年)度表彰事業選考委員会委員の選任の件 報告事項1 資金運用状況報告 報告事項2 2020年(令和2年)度助成事業報告	5月26日 可決
令和3年6月12日 (第2回) 書面決議	第1号提案 株主としての権利行使承認の件 報告事項1 代表理事等職務執行状況報告	6月20日 可決
令和4年1月14日 (第3回) 書面決議	第1号提案 2022年(令和4年)度助成事業審査委員会委員の選任の件 第2号提案 2021年(令和3年)度第2回評議員会開催の件	1月26日 可決
令和4年3月12日 (第4回)	第1号議案 特定費用準備資金の保有について(瀬戸内文化振興事業引当預金) 第2号議案 特定費用準備資金の保有について(公募助成資金引当預金) 第3号議案 2021年(令和3年)度収支予算書の補正の件 第4号議案 2022年(令和4年)度事業計画書・収支予算書の件 報告事項1 代表理事等職務執行状況報告	3月12日 可決

(2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和3年6月1日 (定時) 書面決議	第1号提案 2020年(令和2年)度事業報告及び決算の承認の件 第2号提案 補欠評議員の選任の件 報告事項1 2020年(令和2年)度助成事業報告	6月12日 可 決
令和4年3月12日 (第2回)	第1号議案 2021年(令和3年)度収支予算書の補正の件 第2号議案 2022年(令和4年)度事業計画書・収支予算書の件	3月12日 可 決

4 行政庁等への申請・届出等に関する事項

申請・届出等年月日	申請・届出等事項	備 考
令和3年6月25日	事業報告等の提出	岡山県知事
令和4年3月23日	事業計画書等の提出	岡山県知事

5 主要な契約に関する事項

契約年月日	相 手 方	契約の概要
令和3年4月1日	特定非営利活動法人岡山 NPO センター	福武教育文化振興財団における教育活動助成・文化活動助成の追跡調査
令和3年4月1日	一般社団法人クニヨシパートナーズ	公益財団法人福武教育文化振興財団設立35周年記念公演事業
令和3年10月1日	株式会社あさひ印刷	助成関連事業の支援業務

6 寄附金等に関する事項

寄附の目的	寄附者	申込金額	領収金額	備 考
該当なし				

7 行政庁の指示に関する事項

指示年月日	指 示 事 項	履 行 状 況
該当なし		

8 税法上の収益事業の有無

届出事業の種類	収 入	備 考
該当なし		

9 その他の注意事項

該当なし